

第4回沖縄県軽石問題対策会議 議事概要

日時 : 令和3年12月20日(月) 9:40~10:00

場所 : 6階第2特別会議室

出席者 : 玉城知事、謝花副知事、照屋副知事、島袋政策調整監
知事公室長、総務部長、企画部長、環境部長、
医療企画統括監、農林水産部長、文化観光スポーツ部長、
土木建築部長

1 知事あいさつ

→知事から、「依然として軽石によるフェリー欠航や出漁自粛、観光客の宿泊キャンセル等、県民生活や県内産業に大きな影響が出ている。他方で国の支援が始まっていることや、ボランティア・民間企業による支援の輪も広がるなど心強い情報などもある。県としても軽石の影響を受けている方々に、少しでも早く必要な支援が届けられるよう、引き続き緊張感とスピード感を持って取り組むように」との指示があった。

2 報告事項

- (1) 漂着等の状況と対応について
- (2) 海岸漂着物対策補助金の内示について

3 議題

- (1) 軽石の利活用アイデア募集の応募状況と今後のスケジュールについて
 - 環境部長から資料に沿って報告事項及び議題について報告があった。
 - 謝花副知事から「現状でフェリー航行に支障が出ているか、漁業活動へ支障がでているか」との質問あり、土木建築部長から「現在伊平屋、伊是名、水納島のフェリーで一部欠航が出ているが、以前と比べ欠航の回数は減ってきている」との回答があった。また、農林水産部長から「宜名真、運天、仲尾次、宮古の真謝と保良の各漁港で支障が出ている」との回答があった。
 - 知事から「軽石処理受入調査の回答でゴミや海藻を含まないという条件があるが、含まない方が再利用しやすいということなのか」との質問があり、環境部長から「安定型の最終処分場の場合はゴミや海藻が含まれていると埋立処分できないので分別をしてほしいとの趣旨であり、災害復旧事業等に関し事業期間に利活用ができない場合を想定した調査である」との回答があった。

司会から今回の議題について、「了承ということで進めてよいか」との確認があり了承された。

最後に知事から、「港によっては漂着の影響がまだ残っているところ、他方で、ボランティアや市町村等によって回収が進んでいるところがある。今後、住民や企業から寄せられたアイデアを関係部局において精査をし、出来る限り早急に次の手立てが講じられるよう迅速に取り組んでいただきたい」との発言があった。

以上